

◆ 学びのポイント

1

発達と障害をとらえ、 子どものねがいにせまる

障害などをもつ子どもは、私たちと異なる特殊・異質な存在ではなく、私たちと共通の人間的なねがいをもちながら、その実現のために特別な支援を必要としている存在です。そのねがいにせまるために、子どもの発達と障害を的確に捉える眼と、子どものねがいに応える教育実践を構想する力量を培います。



2

教育や発達支援の 実践に学び、実践を創る

障害児教育現場への観察・参加や教育実習、教育・発達支援の現場に向向いての卒業研究など、現場に向向き、そこでの実践に参加する中での学びを重視しています。ボランティア活動や研修旅行など正規の課程外での現場体験も、学生諸君の創意を生かしつつ、広くとりくまれています。

3

幼児期から学校卒業後までを見通した 一貫性のある教育支援の探求

本専修では、基礎免許状としての小学校または中学校の免許状と特別支援学校免許状を取得するほか、幼稚園免許、養護教諭免許などを取得する人もいます。こうした多彩な学びは、幼児期から学校卒業後までを見通した専門的な支援者を養成することにつながっています。

◆ 学びの領域

子どものねがいにせまる 教育実践者のための 4つの学びの領域

障害と発達を科学的にとらえるための最新の知見を学ぶ医学や心理学と、障害のある子どものねがいにせまる教育実践を創造していくための教育学、教育方法学。子どもの事実、教育実践の事実を軸に、4つの領域を関連させながら、総合的に学べるカリキュラムです。



障害や発達上の困難をもちながら生きる子どもと
家族によりそい、そのねがいに応える教育者に。

特別支援教育専攻の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限				教育実習・事前指導	
3・4時限	特別支援教育の行政と制度	初等教科実践指導		教育実習・事前指導	
5・6時限		発達障害の理解と対応		障害児教育学演習	
7・8時限	肢体不自由教育方法	障害児医学演習			
9・10時限		発達障害と心理検査			



特別支援教育の行政と制度

障害のある子どもの学校教育を基礎づける法令制度とその近年の変遷について資料をもとに学びを深めます。

障害児教育学演習

障害のある子ども・青年の教育と発達をめぐる諸課題について、教育学の観点から問題を設定し、研究的にアプローチする方法などを学びます。



Graduate's Voice

卒業生の声

「子どもたちの笑顔に
出会える専修です。」

特別支援教育専攻卒業生
吉岡 芽生さん
(令和元年度卒)



特別支援教育専攻では、学年を超えたつながりがあり、先生方との距離も近く、アットホームな雰囲気が魅力の専攻です。講義だけでなく、ボランティア活動を通して、実際に子どもたちと関わる機会がたくさんあります。実践では、子どもたちのよさや困っていることに気づけず、思いにどのように向き合ったらよいのか悩むこともあります。そのようなときには、先生方や同じ専攻の仲間と相談して、試行錯誤しながら子どもにとってより良い方法を考えています。そのような一つ一つが、学生のかげがえのない学びとなっています。特別支援教育の見方や考え方は、障害の有無にかかわらずどの子にとっても大切な教育の原点です。子どもたち一人一人と向き合う中で、きらきらとした弾ける笑顔に出会うことができます。ぜひ、そんな子どもたちの笑顔に出会える授業を仲間とともに作りませんか。

主な開講科目

特別支援教育原論／重複障害教育の理論と実際／子どもの発達と心のケア
発達障害の心理学／知的障害の医学／肢体不自由教育方法／発達障害と心理検査
知的障害教育方法／障害児教育学演習／知的障害指導法実習
発達障害の理解と対応／障害児教育実践学演習

取得できる免許状

- ・特別支援学校教諭一種(知的障害・肢体不自由・病弱)
- ・小学校教諭一種または中学校教諭一種(教科は選択できます。)等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

小学校および特別支援学校の教諭が過半数です。他に養護教諭や特別支援学校の
寄宿舎指導員、児童福祉、障害児者福祉の施設・事業、大学院に進学する人もいます。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

- ・木下 理恵教授／特別支援学校・学級経営論
児童生徒のニーズに応える特別支援学校力と教師力の向上
- ・越野 和之教授／障害児教育学
発達障害児・者の人格発達と社会的環境・教育
- ・富井 奈菜実専任講師／発達心理学
発達の質的転換期とその診断法
- ・中西 陽特任准教授／障害児心理学
自閉スペクトラム症児のソーシャルスキルとメンタルヘルス
- ・根来 秀樹教授／障害児医学
発達障害児・者の脳科学からみた評価と支援
- ・堀田 千絵准教授／障害児教育方法学・認知発達心理学
発達障害児者のメタ認知を促す学習支援法の構築